

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日	校長名		所在地																										
ヤマザキ動物専門学校		平成6年6月27日	山北 宣久		〒150-0046 東京都渋谷区松濤2-16-5 (電話) 03-5454-1101																										
設置者名		設立認可年月日	代表者名		所在地																										
学校法人ヤマザキ学園		平成6年6月27日	山崎 薫		〒150-0046 東京都渋谷区松濤2-3-10 (電話) 03-3468-1100																										
分野	認定課程名	認定学科名			専門士	高度専門士																									
文化・教養	動物管理専門課程	動物看護・美容・トレーニング学科			平成22年文部科学省 告示第152号	-																									
学科の目的	2年間で自分の適性を見つげながら動物看護・動物美容・トレーニングを総合的に学習できるよう、講義と実習をバランスよく配置したカリキュラムでプロとしての確かな知識と技術を養う。																														
認定年月日	平成31年3月5日																														
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																								
2年	昼間	2,400時間	1,260時間	60時間	1,080時間	0時間	0時間																								
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																										
40人	49人	0人	2人	49人	51人																										
学期制度	■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 各授業の評価は100点満点を基準として60点以上を合格としている。																										
長期休み	■学年始:4月1日 ■夏季:8月1日～8月31日 ■冬季:12月20日～1月5日 ■春季:3月20日～4月2日 ■学年末:3月31日			卒業・進級条件	教育課程の定めるところにより、学年ごとに終了すべき学科目について試験を行い、合格者に対して当該学科目の修了を認定する。																										
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 長期欠席者に対しては、個別相談、三者面談等を行い、必要に応じてスクールカウンセラーの紹介を行っている。			課外活動	■課外活動の種類 文化祭委員会、ボランティアクラブ等 ■サークル活動: 無																										
就職等の状況※2	■主な就職先、業界等(令和2年度卒業生) 動物病院			主な学修成果(資格・検定等)※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和2年度卒業者に関する令和3年5月1日時点の情報)																										
	■就職指導内容 動物病院				<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認定動物看護師</td> <td>③</td> <td>41人</td> <td>39人</td> </tr> <tr> <td>アニマル・ヘルス・テクニシャン</td> <td>③</td> <td>43人</td> <td>34人</td> </tr> <tr> <td>ドッグ・グルーミング・スペシャリスト</td> <td>③</td> <td>45人</td> <td>45人</td> </tr> <tr> <td>キャット・グルーミング・スペシャリスト</td> <td>③</td> <td>10人</td> <td>10人</td> </tr> <tr> <td>コンパニオン・ドッグ・トレーナー</td> <td>③</td> <td>14人</td> <td>13人</td> </tr> </tbody> </table>			資格・検定名	種	受験者数	合格者数	認定動物看護師	③	41人	39人	アニマル・ヘルス・テクニシャン	③	43人	34人	ドッグ・グルーミング・スペシャリスト	③	45人	45人	キャット・グルーミング・スペシャリスト	③	10人	10人	コンパニオン・ドッグ・トレーナー	③	14人	13人
	資格・検定名	種	受験者数		合格者数																										
	認定動物看護師	③	41人		39人																										
アニマル・ヘルス・テクニシャン	③	43人	34人																												
ドッグ・グルーミング・スペシャリスト	③	45人	45人																												
キャット・グルーミング・スペシャリスト	③	10人	10人																												
コンパニオン・ドッグ・トレーナー	③	14人	13人																												
■卒業者数 : 55 人			■卒業者に占める就職者の割合 : 85 %																												
■就職希望者数 : 49 人			■就職率 : 96 %																												
■就職者数 : 47 人			■その他 ・進学者数: 0人																												
■就職率 : 96 %			(令和2年度卒業者に関する 令和3年5月1日 時点の情報)																												
■卒業者に占める就職者の割合 : 85 %			※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等)																												
■その他 ・進学者数: 0人			■自由記述欄 (例)認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等																												
中途退学の現状	■中途退学者 0名 令和2年3月31日時点において、在学者74名(令和2年3月31日卒業者を含む) 令和3年3月31日時点において、在学者104名(令和2年3月31日卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 令和2年度 該当者なし ■中退防止・中退者支援のための取組 該当者なし			■中退率 0%																											
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 ※有の場合、制度内容を記入 山崎良壽記念奨学金制度、ヤマザキ教育支援制度、特待生制度、姉妹兄弟・親子入学支援 ■専門実践教育訓練給付: 給付対象・非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載																														
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)																														
当該学科のホームページURL	http://senmon.yamazaki.ac.jp/about/course/index.html																														

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含みません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学状況等について記載します。

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

実践的かつ専門的な職業教育を実施するために、企業等との連携を通じて必要な情報の把握・分析を行い、教育課程(カリキュラム)の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善工夫等を含む。)に活かすことを基本方針とする。委員会で審議した事項に関しては、その結果または経過を校長に報告するものとする。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け
※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

上記基本方針に則り、教育課程編成委員会を開催し、企業が求める育成人材像や必要とする知識・技術・その他の多様な能力等について広く情報交換・意見聴取を行い、指摘事項について教務委員会にて検討を行う。

委員会は次の事項について審議する。

- (1) 業界における人材の専門性の動向に関する事項
- (2) 国又は地域の産業振興の方向性に関する事項
- (3) 実務に必要な最新の知識・技術・技能に関する事項
- (4) その他、教育課程の編成に関する事項

委員会で審議した事項に関しては、その結果または経過を校長に報告するものとする。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和3年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
井上 留美	特定非営利活動法人日本動物衛生看護師協会 副会長	令和3年4月1日～令和4年3月31日(1年)	①
山川 伊津子	日本動物看護学会 理事	令和3年4月1日～令和4年3月31日(1年)	②
有谷 恵美	コンパニオン・アニマル・センター センター課長	令和3年4月1日～令和4年3月31日(1年)	③
山北 宣久	ヤマザキ動物専門学校 校長		
村野 弘明	ヤマザキ動物専門学校 副校長		
橋本 直子	ヤマザキ動物専門学校 教育部長		
佐藤 恵子	ヤマザキ動物専門学校 事務部長		
井上 桃子	ヤマザキ動物専門学校 事務部教務・学生課長		

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合には、種別の欄は空欄で構いません。)

- ① 業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ② 学会や学術機関等の有識者
- ③ 実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(6月、11月)

(開催日時(実績))

令和2年度 第1回 令和2年7月 8日 13:30～14:30

令和2年度 第2回 令和3年2月16日 14:00～15:00

令和3年度 第1回 令和3年6月23日 15:00～16:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

・コロナ禍のオンライン対応と動物看護師統一認定試験合格率への影響について意見交換が行われた。委員より、オンラインの良さというのは、学校に来られない学生が出席できる点や、オンデマンド配信にすることで何度も繰り返し確認することができ、学習成果が上がるといった利点もあるとご意見を頂いた。動物看護師統一認定試験対策講座のオンライン授業をリピートして見られるようにしたり、オンラインで対策問題を何度も受験するように工夫したが、成績の良い学生は何度も受験し成績の伸びが感じられたが、合格ラインに達しない学生の模擬試験や対策講座への参加率をいかに向上させるかが合格率向上へつなげるため、本年度の対策講座の開催回数や実施方法について反映させた。

・動物看護総合実習の実施方法について、委員より具体的なアドバイスを頂いた。事前授業で実習先に対する理解を深め、実際に実習で経験し、事後授業でアウトプットすることで今後につながるとアドバイスを頂いたため、本年度の授業より事後授業を導入し、授業の充実を図った。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

学内の授業・実習等で修得した知識や技術を企業等の現場で活用し、実践力を高める。また、連携を行う企業とは連携体制を築き、より実践的な職業教育となるように努める。業務の流れを把握し、清掃から消毒までの衛生管理を学ぶ。診察補助、主な処置法、院内清掃、衛生管理、調剤受付、飼い主対応、電話対応、手術見学、入院動物看護等、動物看護技術を修得させる。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

事前に担当教員と企業等の責任者が実習前に事前に打ち合わせを行い、実習内容の詳細について決定するとともに、生徒の学修成果の評価指標等について定め、実習前に企業実習に関する協定書を結ぶ。実習中は動物看護師が実際に行う仕事をスタッフとともにやり、動物病院業務がどのようなものなのか、またグルーミングの重要性を実習を通し学び、動物看護師の重要性を理解し、今後の就職活動に役立てる。実習終了後は、実習担当者との情報交換を行い今後の教育に反映する。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
動物看護総合実習2	動物病院・グルーミングサロンにおいて実習を行い、動物看護師・グルーマーの重要性を実習を通して学び、今後の研修及び就職活動に役立てる。	株式会社ヤマザキ教育サポート
動物看護総合実習4	アニマルメディカルセンター、シブヤドッグビューティー及び学外の動物病院・グルーミングサロン等で見学や研修を行い、レポートにまとめる。実際の現場で研修を行うことで動物のスペシャリストとして働いていく上で必要な事柄を学ぶ。	株式会社ヤマザキ教育サポート 他

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究（以下「研修等」という。）の基本方針

学校法人ヤマザキ学園就業規則第14条（研修）の規定に基づき、ヤマザキ動物専門学校教職員の研修について円滑な実施を図るため、研修に関する方針を次のように定めるものとする。動物愛護の精神に基づき、広く社会の要請に応じ、人間性豊かな教養と教育水準の向上を図り、職業又は实际生活に必要な能力のある人材の養成を図るため、我が国最大規模を有する動物管理・愛護の教育を施す専修学校として、精選したカリキュラムのもとに目的達成に向けて、努めるものとする。動物管理・愛護に関する専門的・高度な知識と技術の維持向上を図り、その職責遂行のため、常に最高にして最新の教育を実施することに留意し、学外の関係学会・研修会等に参加し、研修を重ねるよう努めるものとする。学外の関係学会・研修会等に参加しようとするときは、授業計画及び学事等に支障のない範囲内で、事前にあらかじめ、校長及び理事長の承認を得て参加するものとし、修了後も同様に報告する義務を有するものとする。また、その学外研修等の結果については、学内における報告会・勉強会等を通じて、広く教育の充実改善に反映するよう努めるものとする。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名「2020年 CATvocate認定プログラム」(連携企業等:ねこ医学会)

期間:6月7日(日) 対象:動物看護師

内容:解剖・生理・薬理学、キャットフレンドリーな病院とは 他

研修名「シェルター・メディスン・セミナー」(連携企業等:公益財団法人日本動物福祉協会)

期間:7月13日(月)～7月27日(月) 対象:動物看護師

内容:シェルター・メディスン概論、伴侶動物の群管理、犬の行動学・猫の行動学

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名「若者にはびこる危険ドラッグ(薬物)について」(連携企業等:ヤマザキ動物看護大学)

期間:8月6日(木) 対象:教職員

内容:危険ドラッグ(薬物)についての基礎知識等

研修名「高大接続改革2.0に向けて—高等学校と大学の相互理解で教育のアップデートを—」(連携企業等:大学コンソーシアム八王子)

期間:8月18日(火) 対象:教職員

内容:大学入学者選抜改革の現状と令和3年度大学入学者選抜について、コロナ禍における大学入試とこれから 他

<p>研修名「ハラスメント問題の最新動向～2020年6月施行パワハラ防止法を踏まえて～」(連携企業等:東京ゆまにて法律事務所)</p> <p>期間:8月26日(水) 対象:教職員</p> <p>内容:各種ハラスメントの解説及びハラスメント防止対策について</p>
<p>研修名「学校教育と著作権法」(連携企業等:公益財団法人東京都私学財団)</p> <p>期間:9月14日(月) 対象:教職員</p> <p>内容:著作権問題を考える場合のポイント、学校における著作物の利用 授業方法による有償・無償の別</p>
<p>研修名「令和2年度第2回重要・経営課題研修『コロナ休校で浮き彫りにされた日本の教育情報化課題～ICT活用でいかに学校のパフォーマンスを高めるか～』」(連携企業等:公益財団法人 東京都私学財団)</p> <p>期間:9月16日(水) 対象:教職員</p> <p>内容:海外と日本の教育場ほかの実際、ICTの教育効果について、コロナ休校で浮き彫りになった課題、ICTの成功例と失敗例</p>
<p>研修名「専修学校における職業教育の質向上に向けた取組の推進－先進事例から学ぶ『職業教育のマネジメント』の意義と実践－」(連携企業等:株式会社三菱総合研究所)</p> <p>期間:9月30日(水) 対象:教職員</p> <p>内容:専門学校における職業教育のマネジメントの概要、先進事例の紹介 他</p>
<p>研修名「教育・キャリア支援担当者セミナー」(連携企業等:株式会社ディスコ)</p> <p>期間:10月30日(金) 対象:教職員</p> <p>内容:2021年卒の就職戦線の検証 他</p>
<p>研修名「学校に求められる性の多様性の理解と対応 ～LGBT/SOGIをめぐって～」(連携企業等:公益財団法人東京都私学財団)</p> <p>期間:11月30日(月) 対象:教職員</p> <p>内容:LGBT/SOGIをめぐっての教育現場での対応について</p>
<p>研修名「管理者研究会」(連携企業等:一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団)</p> <p>期間:12月11日(金) 対象:教職員</p> <p>内容:コロナ禍における専修学校教育の振興、専修学校の遠隔教育の取組、改正著作権法と留意事項</p>
<p>研修名「専修学校各種学校向け感染防止対策」(連携企業等:東京都)</p> <p>期間:1月22日(金) 対象:教職員</p> <p>内容:新型コロナウイルス感染症の国内の動向、ウイルスの特徴、感染防止法 他</p>
<p>研修名「職業実践専門課程の第三者評価フォーラム」(連携企業等:特定非営利法人私立専門学校等評価機構)</p> <p>期間:2月17日(水) 対象:教職員</p> <p>内容:実践的職業教育における第三者評価機関等の確立に向けた定義・要件に関するこれまでの検討成果と今後の職業教育における第三者評価・質保証のあり方</p>
<p>研修名「『18歳選挙権』時代の若者参画とは～体験！主権者教育～」(連携企業等:公益社団法人東京都専修学校各種学校協会)</p> <p>期間:3月16日(火) 対象:教職員</p> <p>内容:18歳選挙権と若者の政治参加、主権者教育プログラム体験、国内外の主権者教育の事例紹介</p>
<p>(3)研修等の計画</p> <p>①専攻分野における実務に関する研修等</p>
<p>研修名「いつまでも、どこまでも一緒に歩きたい お外に出よう！お散歩2021」(連携企業等:新日本カレンダー株式会社)</p> <p>期間:4月25日(日) 対象:動物看護師、グルーマー、トレーナー</p> <p>内容:犬の散歩を行うために必要な指導内容について</p>
<p>研修名「～大好きな飼い主さんと離れて一人になっても大丈夫？～お留守番上手な犬に育てましょう2021」(連携企業等:新日本カレンダー株式会社)</p> <p>期間:7月25日(日) 対象:動物看護師、グルーマー、トレーナー</p> <p>内容:犬を留守番させるために必要な指導内容について</p>
<p>研修名「抗がん剤曝露防止セミナー」(連携企業等:株式会社トップ)</p> <p>期間:9月7日(火) 対象:獣医師、動物看護師</p> <p>内容:化学療法による曝露危険性と推奨事項、ファシールシステム使用方法について</p>
<p>研修名「日本臨床獣医学フォーラム第23回年次大会」(連携企業等:一般社団法人日本臨床獣医学フォーラム)</p> <p>期間:9月19日(日)～10月31日(日) 対象:獣医師、動物看護師</p> <p>内容:基調講演、研究発表</p>

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名「文章作法」(連携企業等:ヤマザキ動物看護大学)
 期間:7月19日(月) 対象:教職員
 内容:時代を意識した文章作法・話し方

研修名「入学(園)者選抜及び採用選考における留意点」(連携企業等:公益財団法人東京都私学財団)
 期間:9月17日(金) 対象:教職員
 内容:入学願書や面接・作文など入学者選抜に関する事項及び採用選考において、人権尊重の視点からの留意点について

研修名「学校における個人情報保護～学校現場の悩み事を中心として～」(連携企業等:公益財団法人東京都私学財団)
 期間:7月19日(月) 対象:教職員
 内容:学校における個人情報の取り扱いについて

研修名「就職等進路に関するセミナー」(連携企業等:公益社団法人東京都専修学校各種学校協会)
 期間:9月30日(木) 対象:教職員
 内容:コロナ禍におけるオンライン就活ノウハウ・二極化が進む学生対策

研修名「労働法の教え方セミナー」(連携企業等:厚生労働省、委託運営LEC東京リーガルマインド)
 期間:11月10日(水)～12月10日(金) 対象:教職員、士業
 内容:大学等教職員向けに労働法の教え方を全員参加型グループワークで学ぶ

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針
 本校は、その教育の一層の充実を図り、本校の目的及び社会的使命を達成するため、本校の教育活動その他の学校運営の状況について、自ら点検及び評価の結果を踏まえた本校の関係者による評価を行い、その結果を教育活動等に活用することを目的に、学校の専門分野における業界関係者、卒業生、保護者、学校運営に関する専門家等で構成する学校関係者評価委員会で本校の教育活動及び学校運営の状況に係る自己評価結果の評価を行うことを基本方針とする。委員会で審議した事項に関しては、その結果または経過を校長に報告するものとする。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	基準1.教育理念・目標
(2)学校運営	基準2.学校運営
(3)教育活動	基準3.教育活動
(4)学修成果	基準4.学修成果
(5)学生支援	基準5.学生支援
(6)教育環境	基準6.教育環境
(7)学生の受入れ募集	基準7.学生の受入れ募集
(8)財務	基準8.財務
(9)法令等の遵守	基準9.法令等の遵守
(10)社会貢献・地域貢献	基準10.社会貢献・地域貢献
(11)国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

・委員より、増改築工事中のイヌのトレーニング実習室であるレインボーホール(体育館)について、竣工後に地域連携の場や、イベントなどの開催を願いたいと意見があった。竣工後は、災害時の帰宅困難者支援施設としての利用の他、各種セミナーや犬猫の譲渡会等での利用も想定しており、併設校のヤマザキ動物看護専門職短期大学と協力し、準備を進める。

・委員より、オンライン授業については問題なくできていると感じるが、コロナ禍においての学習内容は通常時の同等の内容を求めると意見があった。緊急事態宣言下や感染者数が増加している時期においては、学生の安全確保のため、オンライン授業を導入し、ハイブリット型での授業を実施している。講義は、対面授業と同等の内容を実施し、実習は対面での実施に努めるが新型コロナウイルスの感染状況により、学生の安全確保を最優先として対応を取っていく。課外授業に関しては、社会情勢や受け入れ側の体制を踏まえた上で実施を判断し、セミナーや見学内容に合った内容の理解を深めることができる課題を課すことで、学修内容に沿った授業を行っていく。今後も、感染状況を踏まえた上で、行政の通達や指導に基づき、実施又は代替授業を行い、到達目標に見合った授業運営をしていく。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和3年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
島津 裕美	環境省自然環境局総務課動物愛護管理室専門員	令和3年4月1日～令和4年3月31日	当該分野専門家
落合 直美	株式会社エルムスユナイテッド動物病院グループ エルムス動物医療センター	令和3年4月1日～令和4年3月31日	卒業生
花田 道子	ヤマザキ動物看護専門職短期大学 学科長	令和3年4月1日～令和4年3月31日	当該分野専門家
千谷 真理	ヤマザキ動物専門学校保護者	令和3年4月1日～令和4年3月31日	保護者

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())

URL: <http://senmon.yamazaki.ac.jp/about/infodisc.html>

公表時期: 令和3年7月14日

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

概ねホームページ及び印刷物等で公表している。関連する企業等及び外部講師に対しては年度開始にあたり会議を開催し、校長より学校概要・運営指針等を説明している。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	教育理念(ポリシー)、ヤマザキ動物専門学校の歴史、情報公開(学校基本情報)
(2) 各学科等の教育	学科紹介、愛玩動物看護学科、授業風景、情報公開(学校基本情報)
(3) 教職員	ご挨拶、講師一覧、情報公開(学校基本情報)
(4) キャリア教育・実践的職業教育	就職について、校内でのインターンシップ、情報公開(学校基本情報)
(5) 様々な教育活動・教育環境	校外授業、キャンパス紹介、キャンパスライフ、情報公開(学校基本情報)
(6) 学生の生活支援	学生寮のご紹介、取得目標資格、情報公開(学校基本情報)
(7) 学生納付金・修学支援	学費・教材費等、入学支援制度、情報公開(学校基本情報)
(8) 学校の財務	学園の事業報告
(9) 学校評価	学校情報の公開
(10) 国際連携の状況	
(11) その他	社会への取り組み、学園ネットワーク、ヤマザキ学園同窓会、モデル犬クラブ

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

(ホームページ) ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他())

URL: <http://senmon.yamazaki.ac.jp/about/infodisc.html>

授業科目等の概要

(動物管理専門課程 動物看護・美容・トレーニング学科) 令和3年度															
分類	授業科目名			授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
								講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
必修	選択必修	自由選択													
1	○		コンピュータリテラシ	ハードウェアやソフトウェア、インターネットについて等の基礎知識から学ぶ。その後、実務用文書や表計算ソフトの基本的な操作ができるようになるための実習を行う。	1前	20			○	○			○		
2	○		動物文化	古代から近代までの動物文化の歴史を日本と世界の視点から概観し、昔の人々が動物をどのように見てきたかのかを探る。また美術視点からは平面と立体で動物を表現する。	1前	20		○	△	○				○	
3	○		生物学	細胞、生物の構造、物質交代とエネルギー交代、体の調節、生殖と発生、動物の行動、遺伝、進化などの分野について基礎的事項を講義する。	1前	20		○		○				○	
4	○		動物形態機能学1	体各部位ごとにマクロとミクロの視点で名称、機能、関係性、機能の意味などを学んでいく。	1通	80		○		○				○	
5	○		動物形態機能学2	体各部位ごとにマクロとミクロの視点で名称、機能、関係性、機能の意味などを学んでいく。	2前	40		○		○				○	
6	○		動物繁殖学	繁殖に関わる形態機能学を学び、妊娠・分娩と新生子管理、遺伝学の基礎知識を修得する。	2前	30		○		○				○	
7	○		動物病理学	様々な疾病が組織や臓器にもたらす変化を学び、病態について理解する。	2前	30		○		○				○	
8	○		動物薬理学1	薬の取り扱い、作用、体内動態など基礎的なことを総論として学び、各論では作用する目標部位ごとに薬を分けて代表薬と共にその作用機序、体内動態を学んでいく。	1後	30		○		○				○	
9	○		動物薬理学2	薬の取り扱い、作用、体内動態など基礎的なことを総論として学び、各論では作用する目標部位ごとに薬を分けて代表薬と共にその作用機序、体内動態を学んでいく。	2後	30		○		○				○	
10	○		動物感染症学1	効果的な感染管理プログラムを構築するために必要な免疫学、微生物学、感染症学、消毒と滅菌、などに関する専門知識を学ぶ。また人間や動物の生命活動に関わる常在菌や病原微生物の性質について学ぶ。	1通	60		○		○				○	

24	○		野生動物学	日本における野生動物の生息現状、生物多様性の意義、生態系破壊の現状と要因等を講義する。また絶滅危惧種や保全対策、外来種問題、動物園の役割等も講義する。	1後	30		○			○								
25	○		動物内科看護学	動物看護学における知識と技術全般について講義する。特にイヌの扱い方、外貌、保定法、一般身体検査等について講義する。	1通	30		○			○			○					
26	○		動物外科看護学1	外科手術および検査において必要な麻酔の基礎知識を講義した後、疾患別の麻酔管理のポイントや麻酔記録の必要性等を学ぶ。	1後	20		○			○			○					
27	○		動物外科看護学2	外科診療の補助に必要な基礎知識、術前準備から術中補助、術後管理やリハビリについて学ぶ。	2通	40		○			○			○					
28	○		動物臨床看護学総論	動物看護師の現状、医療廃棄物の取り扱い、薬の取扱い、診療簿、不妊手術、予防関連などについて学び、飼主への説明の仕方やポイントなどを講義する。	1通	30		○			○			○					
29	○		動物臨床看護学各論1	エキゾチックアニマルの品種、生態、特徴、飼養方法、法律について講義する。また各動物における代表的疾患の看護法について学ぶ。	1後	40		○			○			○					
30	○		動物臨床看護学各論2	様々な疾患の病態生理を理解し、それによって引き起こされる症状や必要な処置、治療に関する基本的な知識を学ぶ。各々の機能障害を持つ動物に対してどのような看護を提供すべきか、評価と介入の方法を習	2通	80		○			○			○					
31	○		動物臨床栄養学1	基本的な6大栄養素について学び、それぞれの特徴をつかんだ後、各栄養素の関連性を理解し、総合的な栄養学の知識を得るための基礎を学ぶ。	1通	30		○			○			○					
32	○		動物臨床栄養学2	各種療法食の特色や給餌方法など臨床栄養学を修得する。	2通	30		○			○			○					
33	○		動物臨床検査学1	動物臨床検査の現状、検体の取扱い、血液検査、尿検査、糞便検査、耳垢検査などさまざまな検査について講義する。	1通	40		○			○			○					
34	○		動物臨床検査学2	検体検査に加え、レントゲン検査や心電図検査等の生体検査について講義する。	2前	20		○			○			○					
35	○		動物医療コミュニケーション	挨拶、身だしなみ、言葉遣い、電話対応、訪問と来客等の基本的知識を理解したうえで、動物病院での受付業務、電話対応法、問診の基本的ポイント、入退院時の対応等について学修する。	1通	30		○			○			○					
36	○		動物内科看護学実習1	動物看護学における基礎的な分野の修得を目指し、主にイヌの扱い方、外貌、保定法、一般身体検査、消毒法、調剤法、投薬法、注射などの実習を行う。	1通	60					○			○					

37	○		動物内科看護学実習2	動物看護学における応用的な分野の修得を目指し、体格や性格、疾病等個体に合った保定法、輸液管理など実践的な実習を行う。	2 前	30					○	○		○	○	
38	○		動物臨床検査学実習1	顕微鏡や検査器具の扱い方を始め、検体の取扱い、血液検査、尿検査、糞便検査、耳垢検査といった検体検査の目的や検査方法、基準値との比較などについて段階的に実習を行う。	1 通	60					○	○		○	○	
39	○		動物臨床検査学実習2	基礎的な検査手技向上に加え、血液検査や皮膚検査等の応用的な実習を行う。短時間で効率的な検査を目指し、検査結果から考察する。	2 前	30					○	○		○	○	
40	○		動物外科看護学実習	手術準備や術中・術後管理、麻酔準備や麻酔監視、手術の補助、救急救命など動物外科看護学で学んだ知識の実践力を修得する。	2 通	90					○	○		○		
41	○		動物臨床看護学実習	動物看護過程や疾患別の看護など動物臨床看護学で学んだ知識の実践力を修得する。	2 通	45					○	○			○	
42	○		コンパニオンアニマルケア実習1	イヌとネコのグルーミングの必要性を理解し、グルーミングの一連の流れを実習する。	1 通	##					○	○		○	○	
43		○	選択実習 動物看護・コンピュータ	動物看護学における知識と技術全般について復習する。動物病院業務におけるコンピュータスキルの向上も目指す。	2 通	80					○	○		○	○	
44		○	選択実習 動物美容・ドッグトレーニング	グルーミング・トレーニングの基本的な知識と技術の確認を行ったうえで応用的な実習を行う。	2 通	80					○	○		○	○	
45	○		キャリアアップ	グループワークを通じて「自己理解」「自己分析」「仕事理解」を行ったうえで卒業後の進路を考え、具体的な就職活動の準備を行う。	1 後	20				○		○		○	○	
46	○		アッセンブリーアワー1	社会人に必要なマナーやルールといった社会常識と、動物園の動物やヒトのために働く動物等について、それぞれの分野で活躍する外部講師による講義を通して学ぶ。	1 通	20				○		○		○	○	

47	○		アッセンブリーアワー2	社会人に必要なマナーやルールといった社会常識と、動物園の動物やヒトのために働く動物等について、それぞれの分野で活躍する外部講師による講義を通して学ぶ。	2通	20		○		○		○	○		
48	○		エクスターンシップ1	「動物について」「動物とヒトとの関係」「動物愛護」の視点から様々な関連施設見学、イベント参加を行う。	1通	30			○		○	○	○	○	
49	○		エクスターンシップ2	「動物について」「動物とヒトとの関係」「動物愛護」の視点から様々な関連施設見学、イベント参加を行う。	2通	30			○		○	○	○	○	
50	○		動物看護総合実習4	動物病院やグルーミングサロンの1日の流れを実践する。動物看護師やグルーマーが実際に行う仕事をスタッフと共に行い、実際の業務を理解する。	2通	90				○	○		○	○	
51		○	選択実習 動物看護・コンピュータ	動物看護学における知識と技術全般について復習する。動物病院業務におけるコンピュータスキルの向上も目指す。	2通	80				○	○		○	○	
52		○	選択実習 動物美容・ドッグトレーニング	グルーミング・トレーニングの基本的な知識と技術の確認を行ったうえで応用的な実習を行う。	2通	80				○	○		○	○	
53	○		キャリアアップ	グループワークを通じて「自己理解」「自己分析」「仕事理解」を行ったうえで卒業後の進路を考え、具体的な就職活動の準備を行う。	1後	20			○			○		○	○
54	○		アッセンブリーアワー1	社会人に必要なマナーやルールといった社会常識と、動物園の動物やヒトのために働く動物等について、それぞれの分野で活躍する外部講師による講義を通して学ぶ。	1通	20			○			○		○	○
55	○		アッセンブリーアワー2	社会人に必要なマナーやルールといった社会常識と、動物園の動物やヒトのために働く動物等について、それぞれの分野で活躍する外部講師による講義を通して学ぶ。	2通	20			○			○		○	○
56	○		エクスターンシップ1	「動物について」「動物とヒトとの関係」「動物愛護」の視点から様々な関連施設見学、イベント参加を行う。	1通	30				○		○	○	○	○
57	○		エクスターンシップ2	「動物について」「動物とヒトとの関係」「動物愛護」の視点から様々な関連施設見学、イベント参加を行う。	2通	30				○		○	○	○	○
合計					57科目	2400単位時間(単位)									

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
必修授業の出席率70%以上及び試験の評価、提出物、学習態度等の総合評価	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	21週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。